



2023年3月期 第二四半期決算説明会

2022年11月25日

 **ワイエイシーホールディングス 株式会社**

(証券コード：6298 東証プライム)

<https://www.yac.co.jp>

▲ 将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼン資料で述べる将来の当社に関する見通しは、現時点での情報を元に作成したものです。

当社グループのお客様である半導体等の業界は技術革新のスピードが速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、各業界市況、設備投資の動向は、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。

したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。



1. 2023年3月期第二四半期決算概要

ワイエイシーホールディングス株式会社

取締役常務執行役員 富山 督

1 - ① 連結損益状況【P/L】



【トピックス】

減収大幅減益：(A) サプライチェーン混乱による部材の調達難
(B) 原材料費の高騰による原価増

(単位：百万円)

	2020/9期	2021/9期 ①	2022/9期 ②	対前年同期比 (②-①)	修正予想(11/14) 対比
				増減額	通期進捗率
売上	12,230	11,075	10,976	▲99	40.7%
粗利	2,440	2,909	2,671	▲237	
粗利率	20.0%	26.3%	24.3%		
営業利益	311	716	473	▲243	19.7%
営業利益率	2.5%	6.4%	4.3%		
経常利益	307	730	577	▲153	26.2%
当期利益	273	524	325	▲199	20.3%

1-② 過去6年間の連結収支状況推移



【トピックス】

前中間期では過去最高水準を上げるものの、

今中間期は原価増により増益トレンドは一旦踊場に

(単位：百万円)

	2017/9期	2018/9期	2019/9期	2020/9期	2021/9期	2022/9期
売上高	12,033	15,977	11,952	12,230	11,075	10,976
粗利	2,687	2,678	1,824	2,440	2,909	2,671
同率	22.3%	16.8%	15.3%	20.0%	26.3%	24.3%
営業利益	233	326	▲553	311	716	473
同率	1.9%	2.0%	▲4.6%	2.5%	6.5%	4.3%
経常利益	310	428	▲622	307	730	577
同率	2.6%	2.7%	▲5.2%	2.5%	6.6%	5.3%
当期利益	151	161	▲710	273	524	325
同率	1.3%	1.0%	▲5.9%	2.2%	4.6%	3.0%

1-③ セグメント損益の状況



【トピックス】

前年度の稼ぎ頭だったメカトロニクス、電子機器の伸び悩み

(単位：百万円)

		2020/9期	2021/9期①	2022/9期②	増減②-①
メカトロニクス	売上高	5,132	6,055	5,179	▲876
	営業利益	281	678	469	▲209
ディスプレイ	売上高	3,669	952	2,513	1,561
	営業利益	▲87	▲201	▲131	69
産業機器	売上高	408	371	416	44
	営業利益	▲78	▲49	▲17	32
電子機器	売上高	3,019	3,696	2,866	▲829
	営業利益	79	179	103	▲75
合計 (含む調整)	売上高	12,230	11,075	10,976	▲99
	営業利益	311	716	473	▲243

1 - ④ 四半期別比較



【トピックス】

第二四半期単体では対第一四半期増収増益となるが、
第一四半期から続く原価高が全体収益を押し下げ

(単位：百万円)

	売上高	粗利益		営業利益		経常利益		当期利益	
		額	率	額	率	額	率	額	率
4月～6月①	4,900	1,125	23.0%	45	0.9%	133	2.7%	78	1.6%
7月～9月②	6,075	1,545	25.4%	427	7.0%	443	7.3%	246	4.1%
合計	10,976	2,671	24.3%	473	4.3%	577	5.3%	325	3.0%
②－①	1,174	420	2.4%	381	6.1%	310	4.6%	16	2.5%

1 - ⑤ 連結損益状況【B/S】



(単位：百万円)

	2021/9期	2022/3期①	2022/9期②	増減②-①
流動資産	26,870	28,865	28,097	▲ 768
固定資産	8,129	8,131	8,217	86
総資産 計	34,999	36,997	36,315	▲ 682
流動負債	12,847	13,824	13,798	▲ 25
固定負債	7,403	7,848	6,805	▲ 1,043
負債 計	20,250	21,672	20,604	▲ 1,068
純資産 計	14,749	15,324	15,711	386

【トピックス】

総資産圧縮（▲682M）に加え、純資産増（386M）の
相乗効果

	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2021/9期	2022/3期	2022/9期
自己資本比率	35.9%	35.3%	37.5%	42.0%	41.3%	43.2%

1-⑥ セグメント別2022/9末受注残



【トピックス】

受注は順調、前年度同期比1.55倍

(単位：百万円)

	2020/9期実績		2021/9期実績		2022/9期実績		備考
	受注高	受注残	受注高	受注残	受注高	受注残	
メカトロニクス	4,130	2,716	5,624	2,807	7,447	6,792	
ディスプレイ	1,576	6,084	2,939	5,742	2,718	6,869	
産業機器	345	94	438	226	560	267	
電子機器	3,772	5,607	3,849	6,338	4,460	9,456	
合計	9,824	14,501	12,851	15,114	15,187	23,385	1.55倍

1 - ⑦ 通期業績予想修正(11/14)



●2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	30,000	3,000	2,800	1,700	186円21銭
今回修正予想(B)	27,000	2,400	2,200	1,600	174円68銭
増減額(B-A)	△3,000	△600	△600	△100	—
増減率(%)	△10.0%	△20.0%	△21.4%	△5.9%	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	22,796	1,566	1,491	1,107	121円49銭

修正の理由

1. 売上高につきましては、半導体業界における車載向け関連製品の需要増加等により、受注は好調に推移しているものの、中国のロックダウンによるサプライチェーンの混乱に端を発する部材供給の不安定さが続いており、今年度中の完成品出荷への影響が大きいことから、前回発表予想を下回る見込みです。
2. 営業利益につきましては、上記売上高の減少に加えて、ロシアによるウクライナ侵攻によるエネルギーや原材料価格の高騰、欧米各国のインフレ抑制のための金融引締め政策による急激な円安、資材調達価格の高騰により、売上原価が膨らみ、前回発表予想を下回る見込みです。
3. 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、営業利益の減少の影響により、前回発表予想を下回る見込みです。

※なお、本資料には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

※なお、本修正に関わらず、通期配当予想額については、修正を予定しておりません。



2. 2023年3月期通期目標と戦略

ワイエイシーホールディングス株式会社

代表取締役社長

百瀬 武文

【創業理念】 (1973年)

継続発展

1. 技術集約会社
2. 旺盛なバイタリティー
3. リスクに果敢にチャレンジする
4. 少数精鋭主義

【成長理念】 (1985年)

社会貢献

1. 社員の豊かさを追求する（経済的・精神的）
2. 国・地方自治体に、より多く納税する
3. 新製品の創造・提供
4. 地域社会への貢献
5. 株主を優遇する
6. 環境保全のため省資源・省エネルギーを図る

【究極の理念】 (2020年)

SDGs

持続可能な社会へ

～より多く社会に貢献するために～

1. 社員・グループの成長
2. 全員経営・連携と競争
3. SDGs経営の推進
4. 納税額の拡大

2-② 企業理念を追求する当社の姿



1. 企業理念を追求する当社の姿

① 継続し発展する ……	部下・家族・自分・国家・社会のため
② 赤字は社会悪 ……	経営者として最も恥ずかしいことである
③ 社会貢献 ……	常に成長し、かつ利益を通じて
④ S D G s ……	持続可能な社会へ、いくつものカーボンニュートラルに通ずる量産新製品の開発
⑤ プライム市場 …… (株主は投資家中心)	成長あるのみ。宿命である。 成長は、すべてがハッピー。

2. 当社グループの文化は

成長へ、そして更なる成長へと、困難な事態にも決してあきらめず、全員経営の理念のもと、明るく元気よく、ポジティブな挑戦を続け、成長への喜びを感じながら、より多く社会貢献を目指す企業集団である。

(1) プライム市場対応

(2) 創立50周年年度最高値達成

**(3) 2030年1,000億円企業の仲間入り
への戦略化**

2-④ 2023年3月期の狙いを達成する戦略

1. 営業改革

- ① 戦略的・組織的行動の強化
- ② コンタクト数UP
- ③ 量産ニーズの取り込み

2. 粗利率UP

- ① 標準部品の集中購入
- ② 稼働率、生産効率、交渉力の強化
- ③ 依命システムの強化

3. 経費の最適化

- ① 人事総務・財務経理のグループ一元化
- ② 社内利用品調達先の一元化

4. 2030年1,000億円企業の仲間入り

①すべての社員が1,000億円達成で一致している

②今年度中に達成への戦略の確立

③2030年までの9年間で、3年単位の中期計画に基づき進め、成功を勝ち取る

④成長への分野別比率

- ・既存事業による成長 …………… 5%以上
- ・量産新製品の完成による成長 …………… 60%以上
- ・M & A、アライアンスによる成長 …………… 30%以上

⑤ニーズの取込先

- ・SDG s の理念に沿ったものを中心に（医療系を含む）
- ・研究所、ベンチャー企業
- ・あらゆる機会を通じて

5. 量産新製品の強力な推進

①人工透析装置

②毛髪縦断スライス装置

③アルツハイマー型認知症早期発見装置

④紙包装機

⑤光触媒性能判定装置

⑥SiCレーザアニーラ（パワー半導体向け）

⑦マグネシウム電池・アルミニウム電池

6. M & Aの推進

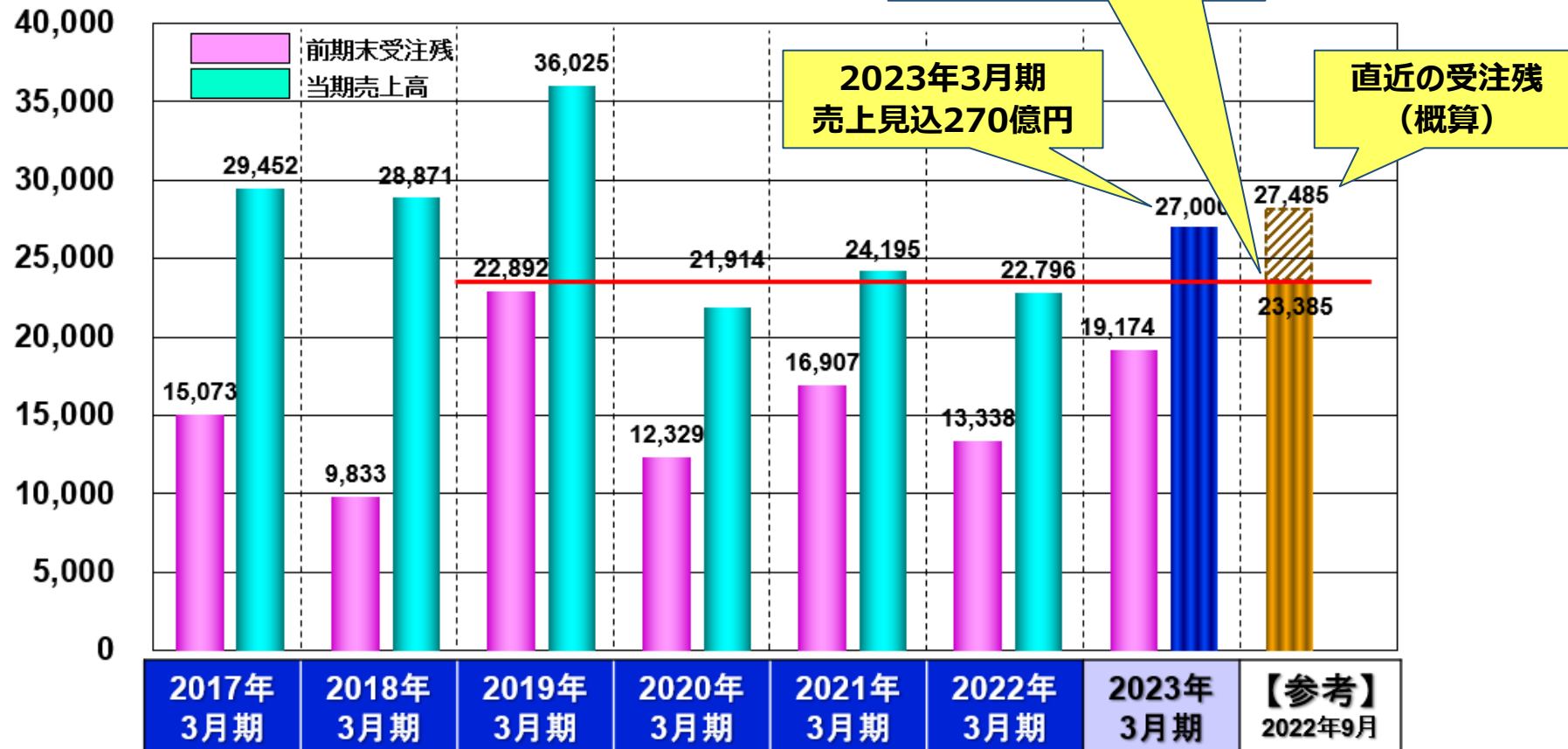
7. 全員経営

2-⑦ 事業別受注額・受注残



<前期末受注残と当期売上高の関係>

(百万円)



■ 前期末受注残に対して、当期売上高が何倍になったのかを示す倍率

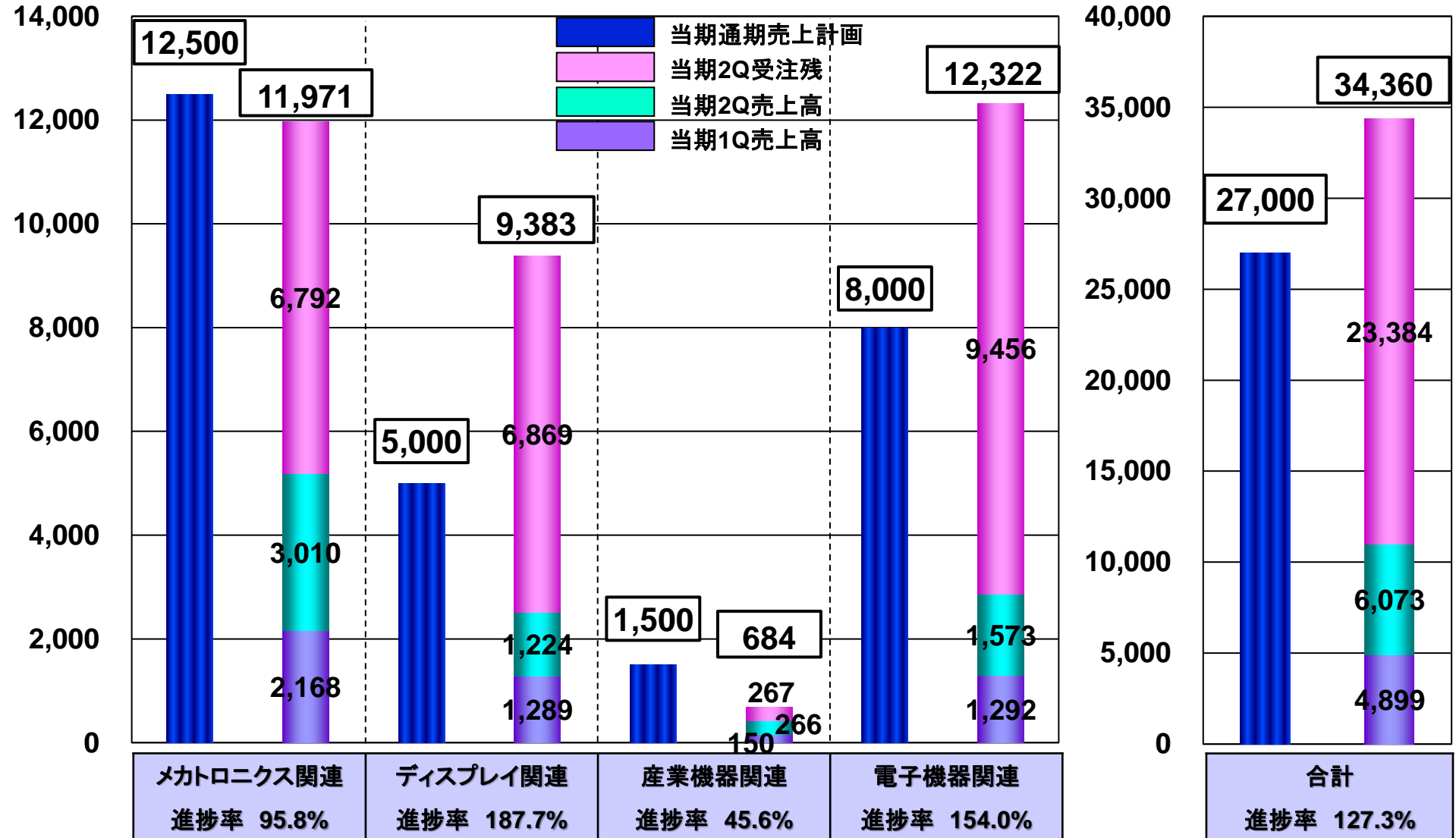
1.95倍	2.94倍	1.57倍	1.78倍	1.43倍	1.71倍	?
-------	-------	-------	-------	-------	-------	---

2-⑧ 2023年3月期売上計画の進捗

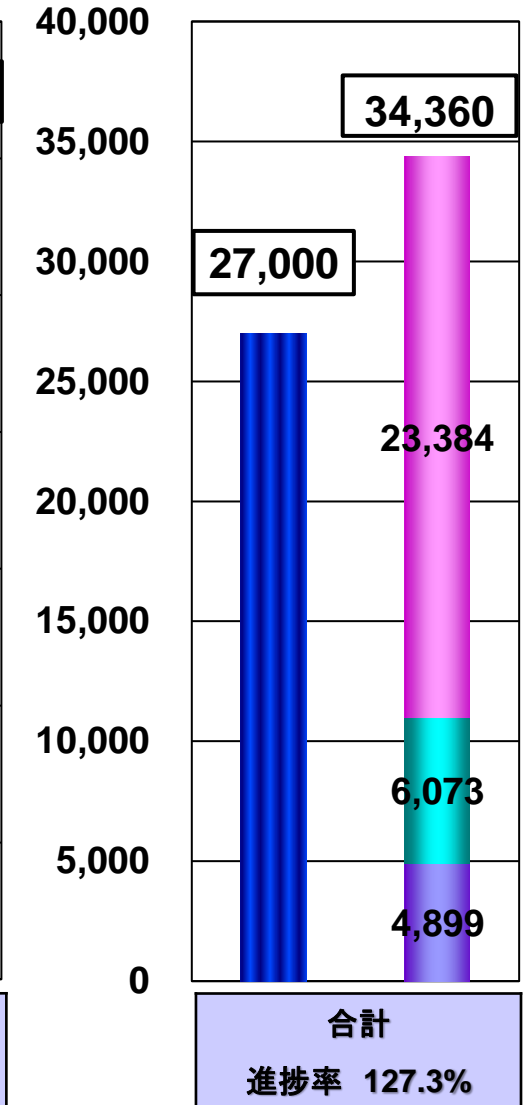


<2023年3月期 事業別売上計画の進捗状況>

(百万円)



(百万円)





APPENDIX

① 事業結果



(単位:百万円)

	2022年3月期 第2四半期 連結累計期間	2023年3月期 第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
売上高	11,075	10,976	▲99	▲0.9%
営業利益 (営業利益率)	716 (6.5%)	473 (4.3%)	▲243	▲34.0%
経常利益	730	577	▲153	▲20.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	524	325	▲199	▲37.9%
1株当たり 四半期純利益(円)	57.66	35.61	▲22.05	▲38.2%
研究開発費	232	191	▲40	▲17.6%
設備投資額	153	212	59	38.8%
減価償却実施額	259	245	▲13	▲5.4%

② 事業別売上・利益



(単位:百万円)

		2022年3月期 第2四半期 連結累計期間	2023年3月期 第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	備考
メカトロニクス 関連	売上	6,055	5,179	▲876	▲14.5%	HDDメーカーの設備投資 の後ろ倒し、モバイル関連 部品の鈍化、原材料高騰
	利益	678	469	▲209	▲30.8%	
ディスプレイ 関連	売上	952	2,513	1,561	164.0%	設備投資は回復基調も、 原材料高の影響受ける
	利益	▲201	▲131	69	—	
産業機器 関連	売上	371	416	44	12.1%	やや回復の兆し
	利益	▲49	▲17	32	—	
電子機器 関連	売上	3,696	2,866	▲830	▲22.5%	電力会社向けは安定的も、 人工透析装置は部品入手 難の影響
	利益	179	103	▲75	▲42.1%	
HDその他	利益	109	48	▲60	▲55.4%	
合計	売上	11,075	10,976	▲99	▲0.9%	
	利益	716	473	▲243	▲34.0%	

③ 事業別受注額・受注残 (連結ベース)



(単位:百万円)

		2022年3月期 第2四半期 連結累計期間	2023年3月期 第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
メカトロニクス 関連	受注額	5,624	7,447	1,823	32.4%
	受注残	2,807	6,792	3,984	141.9%
ディスプレイ 関連	受注額	2,938	2,718	▲220	▲7.5%
	受注残	5,742	6,869	1,127	19.6%
産業機器 関連	受注額	438	560	122	27.9%
	受注残	226	267	41	18.2%
電子機器 関連	受注額	3,849	4,460	611	15.9%
	受注残	6,338	9,456	3,117	49.2%
合計	受注額	12,851	15,187	2,336	18.2%
	受注残	15,114	23,385	8,271	54.7%

④ 貸借対照表のレビュー



<資産>

(単位:百万円)

	2022年3月	2022年9月	増減額	備考
現預金	8,695	7,253	▲1,442	借入金の返済進む
売上債権	10,572	9,168	▲1,403	売掛金の回収進む
棚卸資産	8,846	10,679	1,833	長納期部品の調達
その他流動資産	751	996	244	
固定資産	8,131	8,217	86	
資産合計	36,997	36,315	▲682	

<負債・純資産>

(単位:百万円)

	2022年3月	2022年9月	増減額	備考
仕入債務	5,219	5,519	300	
その他流動負債	8,604	8,279	▲325	
固定負債	7,848	6,805	▲1,043	借入金の返済進む
純資産	15,324	15,711	386	
負債・純資産合計	36,997	36,315	▲682	

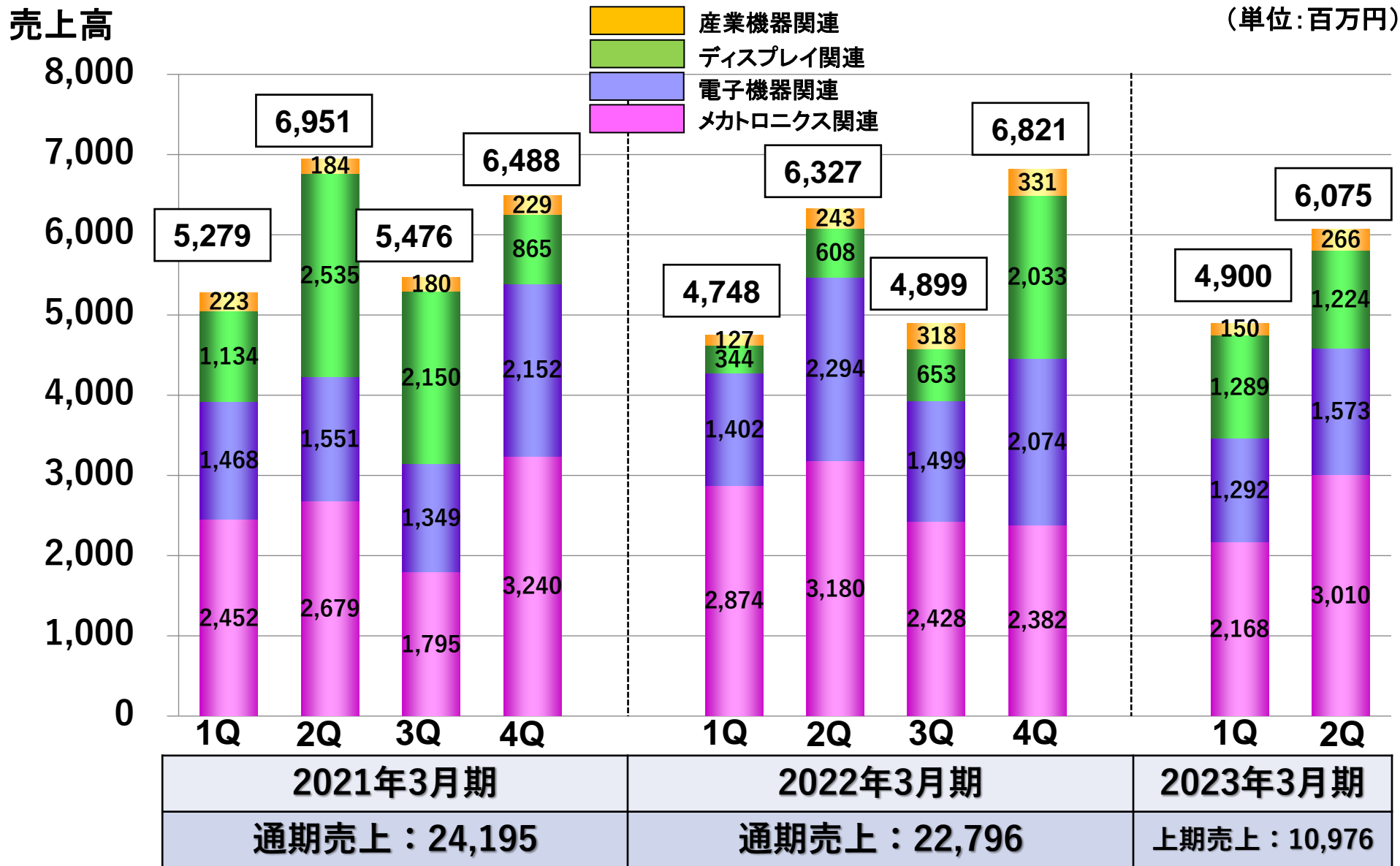
⑤ キャッシュフローのレビュー



(単位:百万円)

	2022年3月期 第2四半期 連結累計期間	2023年3月期 第2四半期 連結累計期間	主な増減要因	
営業活動によるC/F	566	523	増加	売上債権の減少
			減少	棚卸資産の増加
投資活動によるC/F	▲54	▲171	増加	
			減少	
財務活動によるC/F	▲2,053	▲1,904	増加	
			減少	長期・短期借入金の返済
現金及び現金同等物の 期末残高	8,439	7,176	前年度末比1,442百万円減少	

⑥ 事業別四半期毎 売上高

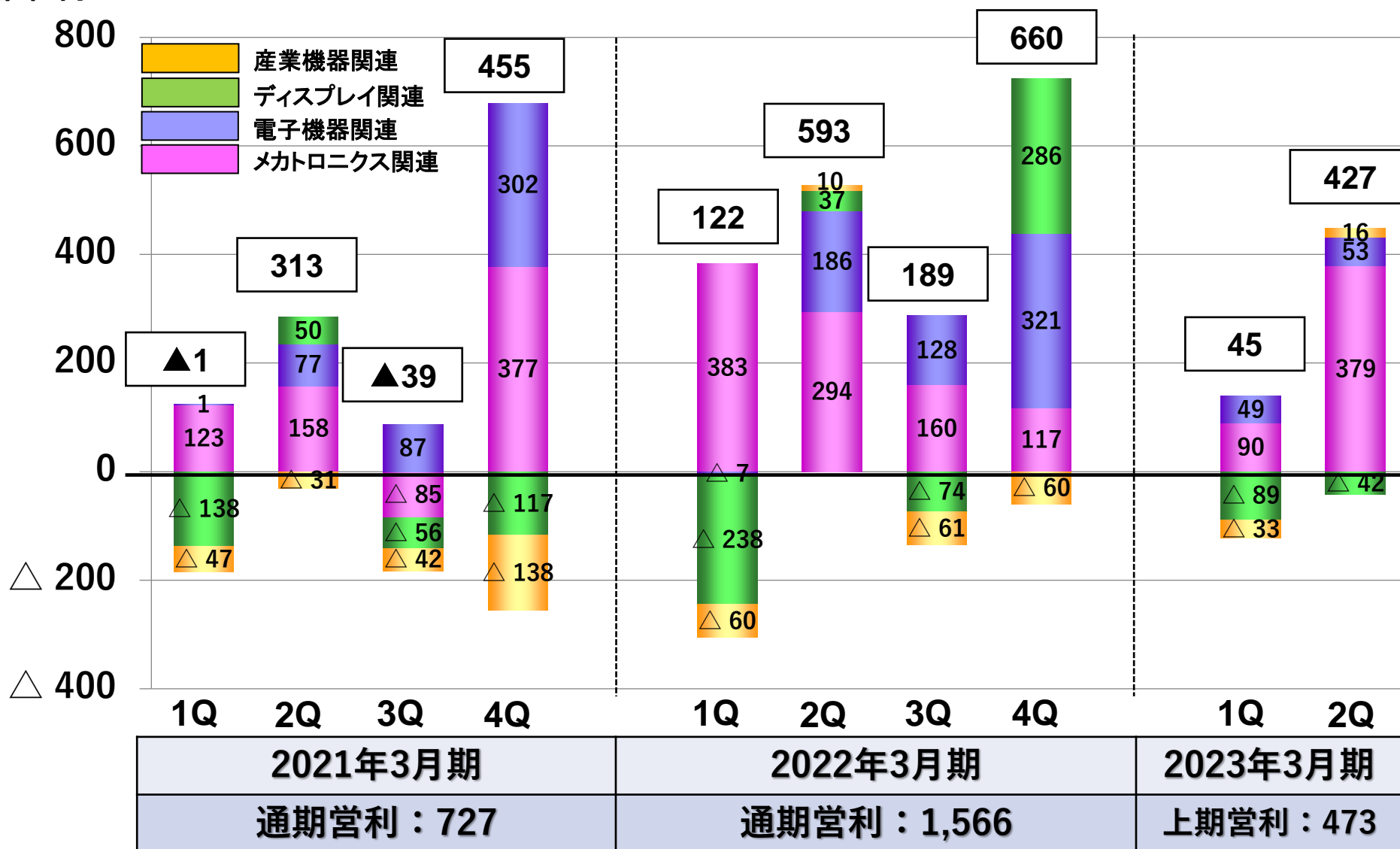


⑦ 事業別四半期毎 営業利益



営業利益

(単位:百万円)



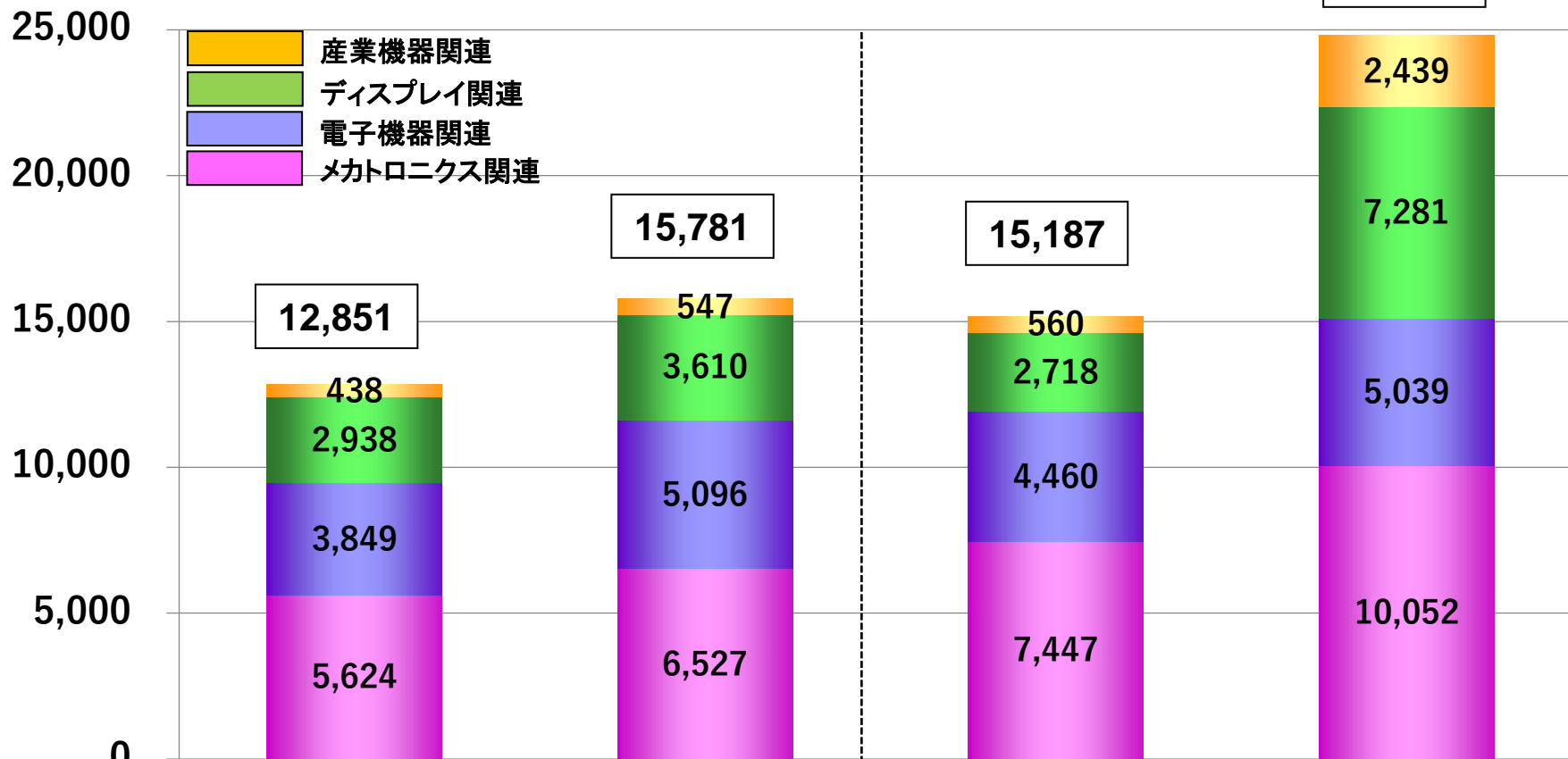
⑧ 事業別実績及び見通し 【受注】



(単位:百万円)

(連結ベース)

24,812



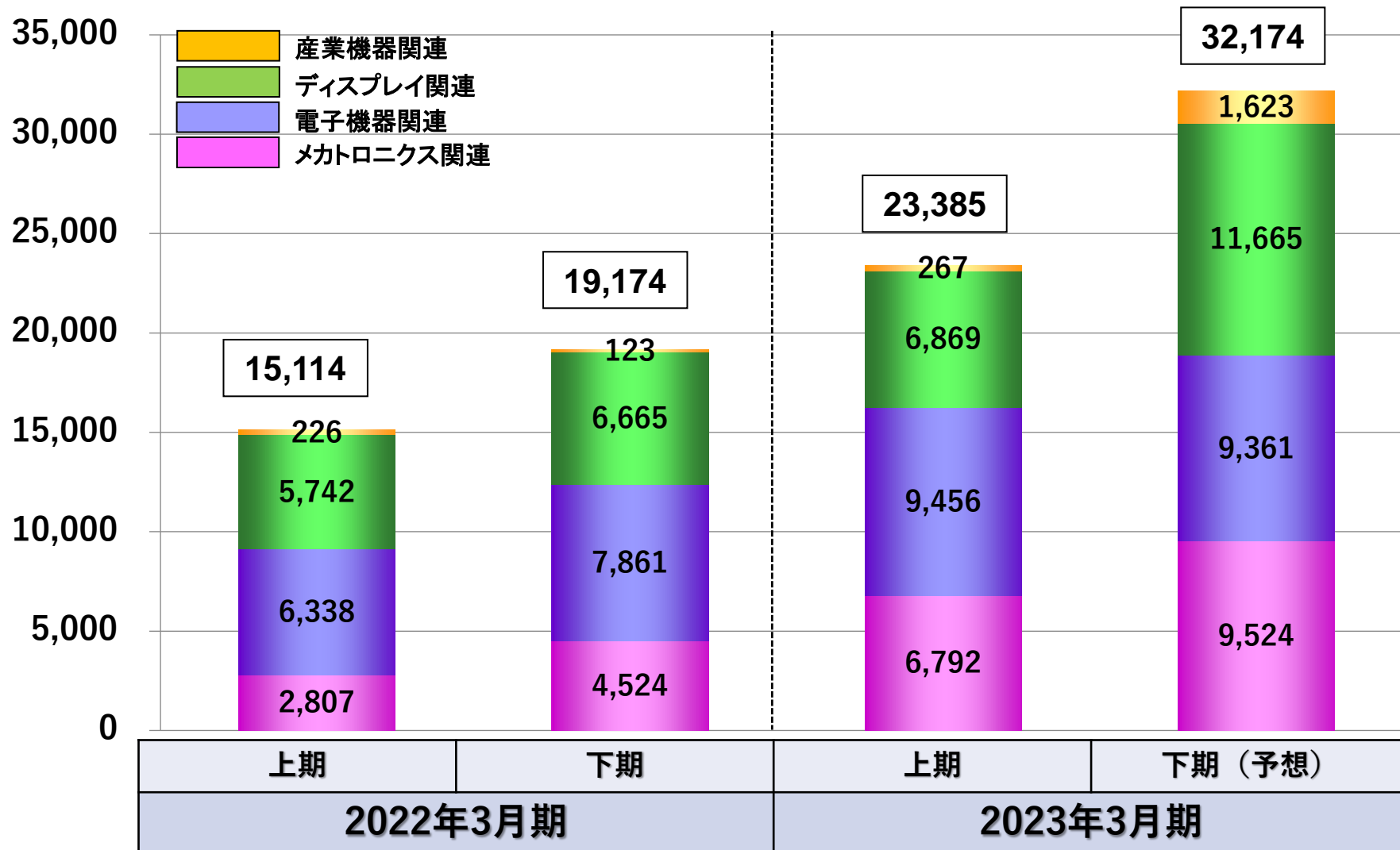
2022年3月期	2023年3月期
上期	下期 (予想)
通期受注高	
28,632百万円 (実績)	40,000百万円 (予想)

⑨ 事業別実績及び見通し 【受注残】



(単位:百万円)

(連結ベース)





さあ今日も、明るく、元気よく
ときめきと感動の日々であれ！

く な や か 先 端 技 術 企 業 集 団
 **ワイエイシーグループ**